

10/23 村上駅前にまた一つ趣のあるものが誕生

J R村上駅前



▲降っていた雨もペンキ塗りの時には止まりました

J R村上駅で老朽した車止めフェンスの一部を撤去して、趣のある板塀風フェンス（6台）に切り換えようと、そのフェンスのペンキ塗りが行われました。同駅で発案し、これまで小路で黒塀づくりを行ってきた「チーム黒塀プロジェクト」にペンキ塗り作業の協力を依頼。当日は、有志で集まった小学生とその保護者など十数人が、駅の関係者と一緒に木の柵を黒いペンキで丁寧に塗りました。

10/23 朝日地区の魅力を発信

朝日みどりの里

▶園児の踊りに大歓声



朝日商工会を中心とした実行委員会が主催した「あさひまつり」が開催されました。メインステージでは、太鼓演奏や朝日奈ゆうさんの歌謡ショー、ライスレンジャーの餅まきなどの多彩な催しで観客を楽しませ、屋外では、軽トラ市やまちづくり協議会による郷土料理販売、林産物の展示などが行われ、地域の魅力あふれるイベントに来場者はおよそ5,000人を記録しました。

10/29.30 神林の魅力満載 農産物フェア

道の駅神林 穂波の里

◀大好評だった餅つき



道の駅神林の名物イベント「農産物フェア」が開催されました。出店ブースには旬の農産物を中心に神林地区の魅力商品が並び、市内外の大勢のお客さまが、お目当ての新鮮な野菜などを買い求めていました。つきたての餅の振る舞いなども行われ、神林を丸ごと味わえる大満足な秋の1日となりました。

10/30 紅葉を駆け続け30回

中継集落

▶秋晴れの下、元気にスタート



第30回中継もみじマラソン大会が開催されました。集落内外から約120人が参加。2キロと5キロのコースを紅葉した景色を眺めながら、マラソンやウォーキングで汗を流し、ゴール後には、芋煮会も行われ、秋の味覚を堪能しました。

笹川流れマラソン大会が始まった年に「山でもマラソン大会で交流しよう」と始まったこの大会。集落の板垣真さんは「たくさんの人が集落に来てくれてうれしいです。受け継がれてきた集落の思いを絶やさないようにしたいですね」と話してくれました。

11/3

310人の選手が力走 朝日地区



◀多目的グラウンドからスタート

第54回朝日駅伝大会が開催され、31チームが参加。朝日多目的グラウンドをスタートし、高根で折り返す34.3kmのコースを1チーム10人でタスキをつなぎ、ゴールを目指して健脚を競い合いました。あいにくの雨天の中でも、たくさんの観客が沿道から選手達へ声援を送っていました。

レースの結果

- 優勝 高根A
- 準優勝 関口遊ing
- 第3位 早稲田はしり隊

11/11

鮭塩引き道場が道場開き イヨボヤ会館 塩引き道場



▶青砥武平治の子孫の妻眞貴子さんも見学

塩引き鮭づくりが体験できる「越後村上三ノ丸流鮭塩引き道場」の道場開きが、11月11日の「鮭の日」に行なわれました。鮭への感謝を捧げる神事後、道場看板が掲げられ、道場の瀬賀功師範による塩引き鮭づくりの実演では、見学者はその巧みな包丁さばきに魅了されました。

10/31
~11/4

「対流」が生み出す新しい意識 山北地区

▶真剣な眼差しでのゼミの学生



平成18年度から山北地区で農村調査実習に訪れている明治大学農学部小田切ゼミ。今年は5日間に渡り山北地区の集落や各種団体を調査し、最終日には、受け入れ先の皆さんや、副市長をはじめとする市職員への調査報告が行われました。「山北地区は、ヒト、モノ、カネ、情報などが活発な動きをすることによる“対流”で地域間や人と人とを結び付け、今後活力ある地域づくりに繋がる可能性を秘めている」と学生から提案があり、今後は受けた提案に対し、地域での具体的な取り組みが期待されます。

11/10

荒川の幸(さち)を堪能 大雄寺

大雄寺を会場に「いなかご馳走まつり(あらかわ幸御膳)」が行われ、参加者は座禅体験の後、見頃を迎えた庭園の紅葉を愛でながら、村上牛飯や鮎の塩焼きなど11品を堪能しました。

この日のメニューは、あらかわ地区まちづくり協議会と食生活改善推進委員協議会荒川地区が共同開発したもので、荒川地区で採れる素材にこだわり、何度も試作を重ねた末に完成させたものです。「大満足。また食べたい」、「次回も開催してほしい」などの声が多数寄せられていました。



▲参加者に大好評だった厳選メニュー